がんばれ城山西小～考える会だより～

No.９４

令和8年8月31日

発行：城山西小と地域振興を考える会

《はじめに》

今年は梅雨らしくしとしと雨が降り、久しぶりにこの季節ならではの情緒に触れたような気がします。梅雨明け後は連日の猛暑で適度に雨も降り、田畑の畔の草の成長の勢いがものすごくて、連日の草刈りに追われた人も多かったことと思います。

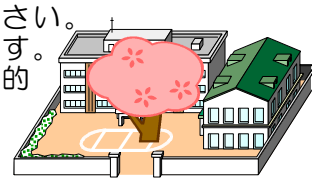
また、今年から40度以上の日を「酷暑日」と呼ぶようになり、全国各地で酷暑日が記録されています。幸いにして宇都宮はまだ酷暑日は訪れていませんが、35度以上の猛暑日を記録するのは日常茶飯事となり、「熱中症警戒アラート」も連日発表され、「災害級」の暑さに見舞われました。

お盆を過ぎてこの暑さも若干落ち着いてきましたが、暑さにさらされてきた体は悲鳴を上げています。冷房を適切に使い十分な休養を取るなど、「災害」への備えを十分に行ってください。また今年はインフルエンザの流行が早くも始まっていますので、十分お気をつけください。

いよいよ夏休みが終わり、元気な子どもたちの声が校舎や校庭に戻ってきます。

これからも地域と学校の連携を密に図るなど、秋以降の取組を引き続き精力的に行っていきましょう。

今回も、地域の皆様に地域や西小の最新情報などをお届けします。



活動報告

◇◇孝子桜を『クビアカツヤカミキリ』の被害から守るため 今年も殺虫剤の散布を行いました。“危機”が身近に迫っています！！☆☆

『クビアカツヤカミキリ』は、バラ科樹木に寄生し、幼虫が樹の内部を食べて枯らしてしまう特定外来生物のカミキリムシです。

被害は身近に迫っており私たちの宝である“孝子桜”をこの害虫から守るために、今年で4年目となりますが、地域の関係者や学校、ＰＴＡの皆さんが集まり、早朝５時から殺虫剤の散布を２回（６月２８日（日）、７月１８日（土））行いました。

その後宇都宮市の見回りで、遂に西小のソメイヨシノで二匹発見されました！ゆゆしき事態であり急遽8月7日（金）に３回目の殺虫剤散布を行ったところです。

害虫を寄せ付けない対策は、「継続が大変重要です。今後とも注意深く観察し緊張感をもって対応していきます。

地域の皆さんもこの大変危険な「クビアカツヤカミキリ」が周辺にいないか、注意深く観察してください。

発見した場合は「捕殺」した上で自治会の役員や学校にお知らせください。どうぞよろしくお願いします。



散布の様子



左「オス」右「メス」です

◇◇恒例行事“こさ切り”を今年も地域総出で行いました！☆☆

今年も８月2日（日）の早朝６時から、多くの地域の方々の参加を得て、「こがし桜ルネサンス」の主要事業として、恒例の“こさ切り”が行われました。

今年の夏も連日猛暑となっていますが、その暑さを少しでも避けようと早朝から作業を行いました。道路や唐沢溜沿いの草は、夏の日差しと適度な降雨のおかげで威勢良く背丈ほどに伸びており、皆さん刈り払い機を力強く振るうなど、汗だくになって草と格闘しました。

今年はイノシシの出没が多くあちこちを掘り返していますが、今回のこさ切りで多くの茂みが取り除かれイノシシ対策の一助にもなったことと思います。これからも地域のみんなで協力しながら、この取組を続けていきましょう。

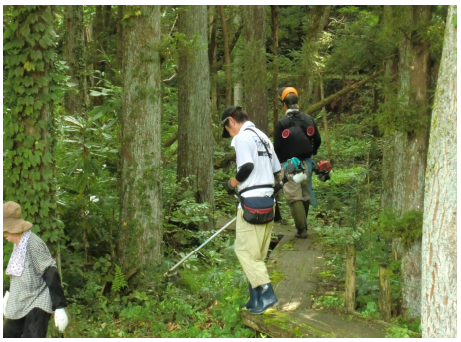
早朝からの作業、大変お疲れ様でした。来年もよろしくお願いします。



朝の集合風景



ものすごい草です！



唐沢溜もきれいに

◇◇今年も『奉仕作業』を行いました◇◇

恒例の城山西小学校奉仕作業が８月３０日（日）に、地域や保護者の方々など大変大勢の人たちが参加して行われました。

今年の奉仕作業は、幸い朝から曇りで比較的涼しい気候の中での作業となりました。庭木の剪定をしたり、刈り払い機で草を刈ったり、丹念に校庭の草を取ったりしたほか、「孝子桜見晴台」前の斜面の雑木が生い茂り、見晴台が見えづらくなっていたため、数年ぶりに斜面の一部の刈り払いも行いました。

大変丁寧な作業を行っていただいたおかげで、学校が見違えるほどきれいになりました。

また今年も、奉仕作業終了後にPTAから「かき氷」のおふるまいがあり、汗をかいた体に氷の冷たさが染み渡りました。PTAの皆さんありがとうございました。

これで夏休み明けの子ども達を、気持ちよく迎えることができます。参加してくださった皆さん早朝からの作業、大変ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。



かき氷のおふるまい風景



裏山の桜周辺の草刈り



これで見晴台からの眺めもバッチリ！



庭木の剪定の様子

地域情報

◇◇今年も『古賀志そば生産組合』が秋そばの種まきを行いました！！◇◇

『古賀志そば生産組合』は、古賀志ルネサンス事業の目的である「耕作放棄地の解消と抑制」、そして「地域の活性化」を進めるため、平成２年に地域の有志で結成した組合です。

最初は組合員数９人でスタートしましたが、徐々に増えて今年は１７人となり、作付け面積も２ｈａだったものが、年々新たな耕作放棄地等を加えて、今年は８．２ｈａと大きく面積を拡大してきました。

今年で作付けも７年目となり、８月９日（日）から組合員総出で秋そばの種まきを始めました。ところが太平洋側から上陸するというかつて記録のないめずらしい台風などによる悪天候で作業が中断し、再開できたのはお盆過ぎとなりましたが、どうにか終了することができました。

また、地域の景観づくりのために、5月には複数の圃場に「ひまわり」の種をまきました。今黄色の花がとてもきれいに咲き誇っており、古賀志の里に彩りを加えています。そばの収穫後には、「菜の花」の種もまく予定なので、来年の春は桜の花のピンクと黄色の共演が楽しみです。

この取組が地域活性化の一助となるよう、組合員一同で一層がんばっていきますので、地域の皆さんのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いします。



満開のひまわりがきれいです！



まずは肥料をまきます



種蒔きの様子



きれいに生えそろいました

～今後とも考える会の活動に対して、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。～